

JSCE2005

- 土木学会の改革策 -

社会への貢献と連携機能の充実

土木学会企画運営連絡会議
2003年5月

はしがき

JSCE2005 は、JSCE2000 で提案した改革策の実行状況を自己評価するとともに、新たな情勢変化への今後の対応策を示すものである。各部門・各委員会では、これまでの改革の実態の自己評価を行ったうえで、実施されていなかった改革や社会状況の変化を踏まえた上で、新たな改革策を長期的な視点から検討した行動計画を策定した。この JSCE2000、JSCE2005 のシリーズを、土木学会の中期目標、中期計画を表明する手段として位置付け、今後5年を目途に見直し、学会の健全さと活力を持続するための評価・実行システムとして組み込むことを提案する。

今日の土木工学が目標とすべきは、市民の意識や社会の問題をくみ上げ、それに基づいて社会資本サービスおよび空間利用に関するソリューションを提供していくことである（中期目標）。そのためには社会・学会・会員の相互連携が必要であり、それを支える種々のコミュニケーション機能を強化する方策を提案する（中期計画）。

JSCE2005 は第 編から第 編により構成されている。第 編は本編であり、これまでの改革を概観したうえで、今回の改革の位置付けおよび対応する組織の改革案を示している。第 編はアクションプランであり、第 篇において示されたビジョンに向け、各部門が行動すべき内容が分類・整理され示されている。第 編は補遺であり文脈上第 編に記述できなかった内容を示す。第 - 編は JSCE2000 に対する部門別の自己評価 および JSCE2005 の活動目標と計画である。

本レポートの作成過程では、企画編集担当の企画委員会および各部門での検討に加え、学会の Web、全国大会の特別講演パネルディスカッション、理事会・委員会等での広範な議論をお願いした。土木学会が、JSCE2005 を自らの改革の道標として、国民から信頼を寄せられる学会へ脱皮していくよう努力していくこととしたい。

平成 15 年 5 月

土木学会

企画運営連絡会議座長

企画委員会委員長

企画委員会幹事長

理事・次期会長

企画部門主査理事・副会長

JSCE2005 編集会議主査

御巫 清泰

川嶋 康宏

林 良嗣

平成 14 年度企画運営連絡会議

. 企画運営連絡会議

- オブザーバー：岸 清（平成 14 年度会長）
- 座長：御巫 清泰（次期会長）
- 副座長：村上 仁士（出版部門担当）
- 専務理事：古木 守靖（土木学会）
- 主査理事：坂本 忠彦（総務部門担当）
- ”：川嶋 康宏（企画部門担当）
- ”：森光 康夫（財務・経理部門担当）
- ”：小森 博（出版部門担当）
- ”：濱田 政則（調査研究部門担当）
- ”：井上 啓一（広報部門担当）
- ”：三木 千壽（国際部門担当）
- ”：都丸 徳治（学術資料館・土木図書館担当）
- ”：角田與史雄（会員・支部部門担当）
- ”：田崎 忠行（災害緊急対応部門担当）
- ”：磯島 茂男（技術推進機構担当）
- 幹事：井上 直洋（総務部門担当幹事）
- ”：林 良嗣（企画部門担当幹事）

. 企画運営連絡会議幹事会

- 井上 直洋（総務部門）
- 林 良嗣（企画部門）
- 米山 正彦（財務・経理部門）
- 高松 正伸（出版部門）
- 佐藤 慎司（調査研究部門）
- 横田 弘（広報部門）
- 谷口 栄一（国際部門）
- 松浦 茂樹（学術資料館・土木図書館部門）
- 西田 修三（会員・支部部門）
- 山田 正（災害緊急対応部門）
- 名倉 健二（技術推進機構）

平成 14 年度企画委員会

委員長 : 川嶋 康宏
委員兼幹事長 : 林 良嗣
委員兼副幹事長 : 日下部 治
委員 : 金近 忠彦 北橋 建治 木村 洋行 黒田 正信
谷口 栄一 田村 武 古市 尚義 堀江 清一
委員兼幹事 : 阿部 功 梅山 和成 川上 征雄 近藤 秀樹
杉山 郁夫 高辻 哲 高野 晴夫 中川 義也
西井 和夫 橋本 徳昭 溝上 章志 村田 和夫

JSCE2005 編集会議

林 良嗣 (企画委員会幹事長)(主査)
梅山 和成 (企画委員会委員兼幹事)
佐藤 慎司 (調査研究部門代表幹事)
杉山 郁夫 (企画委員会委員兼幹事)
高辻 哲 (企画委員会委員兼幹事)
橋本 徳昭 (企画委員会委員兼幹事)
村田 和夫 (企画委員会委員兼幹事)
石郷岡 猛 (事務局)